

目的

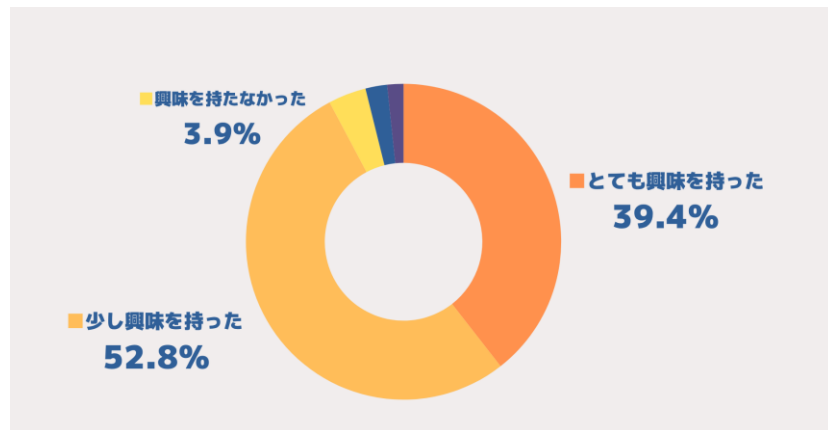
小学生が楽しみながら福祉・介護の仕事に興味を持ち、その魅力を理解するきっかけを提供するコンテンツを作成・実施すること。

(背景) 福祉・介護の仕事を選択していただくには、小学生のうちから魅力を伝える必要があると考えられるが、本センターとして、小学生に向けて介護の仕事の魅力を伝えるコンテンツがなかった。

成果・効果

(実施済みの4か所のアンケート結果より)

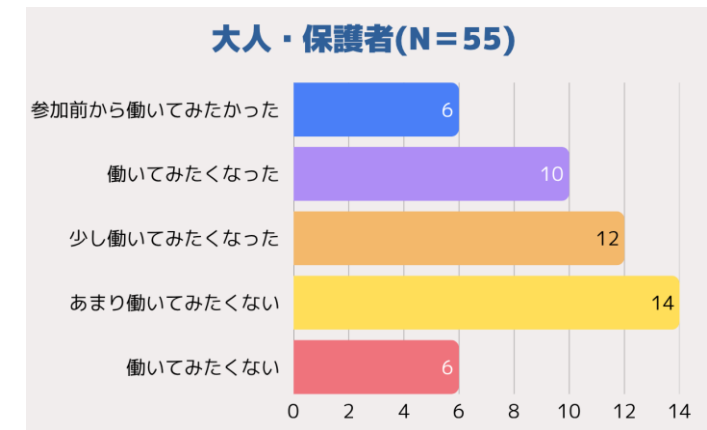
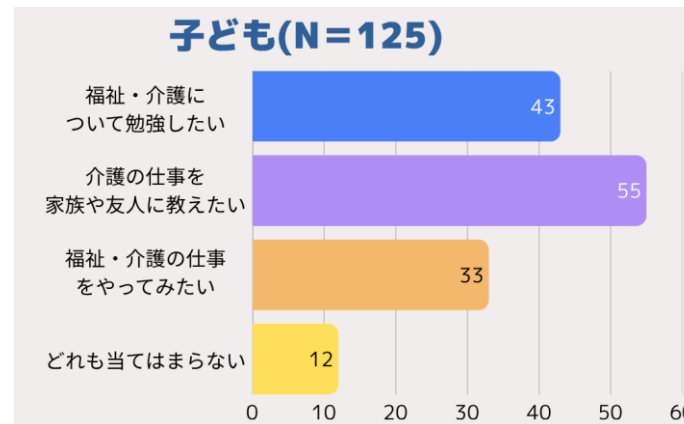
①参加者の**92.2%**が福祉・介護の仕事に対して興味・関心を持つようになったと回答 (N=180)



特徴と内容

- ・「謎解き」の要素を介護の職業体験と組み合わせたコンテンツ。
- ・主に小学校高学年向けに作成し、学校の授業内あるいは、地域のイベント内で開催することを想定している。
- ・R7年度は地域イベントや施設等の4か所で開催。
- ・市町社会福祉協議会、三重県介護福祉士会をはじめとする職能団体等にスタッフ等の協力を依頼し連携する。

②さらに参加前に比べ、**54.4%**が福祉・介護の仕事に就きたい・学びたいと回答(複数回答可)。しかし、依然として福祉・介護の職にマイナスのイメージを持たれていることが結果からも分かる。



PRメッセージ

本事業の動画をYouTubeで公開中です。
三重県福祉人材センターのホームページをチェックしてください。



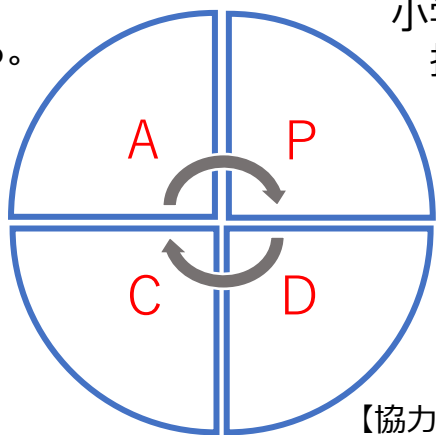
【各福祉人材センター・バンク共有用限定ページ】

共通課題

④福祉や福祉の仕事についての啓発・魅力発信

PDCA

次回開催の際に
改善点を反映する。



当日の様子や
アンケート結果、
スタッフによる振り返りから
改善点を見つける。

小学生が介護の仕事に興味を
持ってもらう内容を検討する。
株式会社Blanketに再委託し
サポートを得た。

プレ開催(1回目)
実施にあたり、関係機関に次
のとおり協力いただいた。

【協力】
市町社協：学校選定、当日スタッフ、
備品貸与
介護福祉士会：当日スタッフ、備品貸与

体制・予算

当初予算：福祉・介護の魅力発信事業全体 13,443千円
※うち人件費4,882千円
※本事業は福祉・介護の魅力発信事業の一事業として実施

主担当1名 副担当1名

展望と課題

【展望】

- ・令和7年度以降は、各地域で展開予定。
- ・学校に限らず、市町社会福祉協議会と連携し、地域で開催し、中身もアレンジして実施できるようにしたい。

【課題】

- ・介護の仕事に興味を持ったと回答した生徒は多かったが、福祉・介護分野への就職・進学を考えるようになったと回答した生徒が少なかった。